

| | | | | | | | |
|-----------------|---|--|----------|---------|---------|-------------|--------|
| 政策 | 52 生涯学習の充実 | | | | | | |
| 区分 | 妥当性 | 妥当 | コスト削減の余地 | 無 | 受益者負担 | 適正 | |
| | 上位貢献度 | 有効 | 類似事業の有無 | 無 | 成果向上の余地 | 有 | |
| 対象 | 市民 | | | | | | |
| 施策が目指す姿 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に対する市民の多様なニーズに応じた、利用しやすい生涯学習環境の充実を図り、利用者の満足度を向上させる。 地域の多彩な人材が地域社会で活躍できる環境づくりを推進し、各種学級・講座等を充実させ受講者の満足度を向上させる。 | | | | | | |
| 成果指標 | <ul style="list-style-type: none"> 社会教育施設利用者満足度...平成29年度で80% 各種学級・講座受講者満足度...平成29年度で80% | | | | | | |
| 目標達成状況 | | | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成29年度 |
| | 成果指標1 [%] | 予定 | 63.00 | 65.00 | 70.00 | 75.00 | 80.00 |
| | | 実績 | | | 98.62 | 97.49 | |
| | 成果指標2 [%] | 予定 | 63.00 | 65.00 | 70.00 | 75.00 | 80.00 |
| | | 実績 | | | 98.27 | 97.54 | |
| | 成果指標3 [] | 予定 | | | | | |
| | | 実績 | | | | | |
| | 成果指標4 [] | 予定 | | | | | |
| 実績 | | | | | | | |
| トータルコスト (千円) | 予定 | 846,567 | 811,736 | 860,111 | 765,055 | | |
| | 実績 | 810,757 | 815,315 | 832,758 | 846,658 | | |
| 内部評価 | 貢献度 | 上位基本方針の「健やかに人を育み学び続けられる町づくり」には一生に渡り学び続ける生涯学習の充実が不可欠であるため、本基本施策の目標達成度による貢献度は高い。 | | | | | |
| | 達成状況 | 本年は満足度アンケート調査の結果、下位施策の成果指標は2つとも目標値を達成していることから、満足度についても達成していると推測できる。 | | | | | |
| | 課題 | 特に施設について、老朽化が始まっている施設が数多くみられるため、計画的な改修を行い、満足度を下げないような施策が必要と考えられる。 | | | | | |
| | 取組方針 | 老朽化施設の適切な改修を行うとともに、とちぎ未来アシストネット事業を推進し、学校・家庭・地域の連携・協働体制を更に築きながら、生涯学習の満足度向上を図る。 | | | | | |
| 外部評価 | <p>成果指標である社会教育施設利用者満足度、各種学級・講座受講者満足度ともに目標を大幅に上回っており評価できるが、目標値の設定が妥当であったかを検証し、次期計画には実態に即した目標値を設定されたい。</p> <p>下位の単位施策も概ね順調に推移しており、計画期間での目標達成を図ること。</p> <p>施設利用者の満足度を維持していくうえで、老朽化した施設の修繕は不可避であり、施設再配置計画と併せた取組みを検討されたい。</p> <p>とちぎ未来アシストネット事業との連動や地域との連携を図りながら、本市ならではの魅力ある学級・講座の開設を進められたい。</p> | | | | | | |
| 基本施策達成のための単位施策 | 施策コード | 名 称 | | | | トータルコスト(千円) | 達成度 |
| | 5201 | 生涯学習環境の充実 | | | | 375,842 | 100 |
| | 5202 | 生涯学習機会の充実 | | | | 470,816 | 100 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

平成28年度

基本 施策評価表 補表

| | | | |
|-------------|-------------------|--|---|
| <p>施策</p> | <p>52 生涯学習の充実</p> | | |
| <p>区分</p> | <p>妥当性</p> | <p>妥当</p> | <p>生き生きと学び、人づくり・まちづくりに参画する生涯学習を推進するためにも妥当。</p> |
| | <p>コスト削減の余地</p> | <p>無</p> | <p>施設の維持管理や、講座開催に係る経費は必要最小限を見積もっており、適正な受講料を徴している。</p> |
| | <p>受益者負担</p> | <p>適正</p> | <p>施設の使用料や、講座受講料を適切に設定している。</p> |
| | <p>上位貢献度</p> | <p>有効</p> | <p>市民が生涯を通じて学び続ける環境づくりに貢献している。</p> |
| | <p>類似事業の有無</p> | <p>無</p> | |
| | <p>成果向上の余地</p> | <p>有</p> | <p>施設利用者数や各種学級受講者数は伸びがみられるので、今後も成果向上の余地は有る。</p> |
| <p>内部評価</p> | <p>貢献度</p> | <p>上位基本方針の「健やかに人を育み学び続けられるまちづくり」に貢献している。</p> | |
| | <p>達成状況</p> | <p>2つの単位施策とも、目標値をクリアしている。</p> <p>なお、アシストネット事業と、いじめや不登校対策との関係ですが、地域の方が地域の学校へボランティアで入ることにより、地域の方と児童の顔が繋がり、例えば登下校時においては、地域の方と児童が行き会おうと児童から挨拶をするようになったということや、子ども達がじゃれ合い危険な時や、いじめたりしているような時には地域の方が注意をするような環境が生まれています。</p> <p>不登校対策については、本人と身近な家族の信頼関係を大切にすること、また、家庭環境や個人情報など様々な問題があり、地域の方が係わるということについては現状においては難しいものがあります。しかし、本市のアシストネット事業は、「地域から学校へ」の取組から「学校から地域へ」の取組も推進し、この取組により、児童・生徒が地域に自分の居場所を見出し、自己肯定感を高めることができるのではないかと考えられます。そのようなことから、「学校から地域へ」の取組は不登校の予防的な効果もあるのではないかと考えます。</p> | |
| | <p>課題</p> | <p>とちぎ未来アシストネットについては、文部科学大臣表彰を受賞したことなどから、視察の受け入れなどが増えているが、栃木市内においては、まだまだ事業の認知度が低い状況にある。</p> <p>各種学級講座等の参加者の年齢層が比較的高齢であることが課題である。</p> | |
| | <p>取組方針</p> | <p>とちぎ未来アシストネット事業について、より一層学校・家庭・地域の連携・協働を推進するため、「地域から学校へ」の取組から「学校から地域へ」の取組を推進し、地域の人と人とのつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図るとともに、引き続きアシストネット事業の啓発を推進する。</p> <p>生涯学習の拠点となる施設及び関連する施設の利用促進を図る。また、若い世代も興味を持てるような生涯学習メニューの充実や、各種講座の受講者が学習の成果を地域で生かすことが出来るようになるための方策や活躍の場を、さらに検討していく。</p> | |